

管理運営評価シート(令和5年度)

施設名称	さんぽく森のなかよし学童保育所	評価対象年度	令和 5 年度
指定管理者名	特定非営利活動法人おたすけさんぽく	所管課	山北支所地域振興 課
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	評価者(課長)	大滝 きくみ

1 令和5年度の実績

(1)事業実績

利用実績	①学童保育所 年度末在籍児童数 48名 延べ登所児童数 8,328名 ②子育て支援センター 延べ利用者数 895名 (大人414名子ども481名)
サービス向上の取組	おたより・ホームページ等を通じて学童保育や子育て支援センターの活動の様子を知らせた。 利用者のニーズを把握し今後の運営に活かすため、アンケート調査を実施した。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (3年度)	前年度 (4年度)	当該年度 (5年度)	合計	備考
収入	指定管理料	20,743	21,340	21,563	63,646	基本協定額: 105,285 千円
	利用料金	2,435	1,908	2,078	6,421	
	事業収入	1	1	1	3	
	自主事業収入	717	752	929	2,398	
	その他	0	1,056	0	1,056	処遇改善臨時特例事業
	収入合計 ①	23,896	25,057	24,571	73,524	
支出	人件費	18,809	19,847	19,505	58,161	
	福利厚生費	616	646	606	1,868	
	事務費	775	915	1,173	2,863	
	管理費	2,653	2,851	2,446	7,950	
	水道光熱費	1,086	1,176	1,080	3,342	
	修繕料	499	473	256	1,228	
	使用料・リース料	223	234	232	689	
	手数料・保険料	204	180	226	610	
	委託料	641	788	652	2,081	
	事業費	17	26	23	66	
	自主事業経費	717	752	929	2,398	
	その他	0	0	0	0	
支出合計 ②		23,587	25,037	24,682	73,306	
収支差額(①-②)		309	20	▲ 111	218	

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他 特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	◎	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	◎	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	◎	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	◎	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	◎	◎	年間活動行事が充実しており、健全育成や育児支援が効果的に実施されている
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	◎	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	◎	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	◎	◎	より良い体制を整えるための研修や勉強会を実施することができた
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	◎	熊出没時における学童利用者の下校時の安全確保について、迅速に対応することができた
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	◎	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	◎	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある ー:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1)指定管理業務実施上の課題	①施設の建設から20年近く経過し、補修の必要な個所が多い。床暖房・給湯器のボイラーもいつ不具合が起きるのかわからない状態。 給湯器は2台のうち1台が異常のため1台を稼働させて使用しているが、修繕は地元の業者では対応できない。 ②講堂にはエアコンの設置がなく、気温が高い日の利用においては、学童利用児童の熱中症が危惧される。 ③加配の支援員を厚く配置させてもらっているが、長期休業中は開所時間が長く、人員の確保が難しい。
(2)課題解決に向けた取組	①施設に関しては早目に対応できるよう、日々の点検を心がけている。 ②夏休み中利用児童の増加が予想されるので、活動や行事を工夫する。 ③夏休み中のみの支援員確保を検討している。
(3)その他	①利用者からの主な意見や苦情、対応策 学童に対して保護者の皆さんからはおおむね認めて頂いていると感じる。 感染症にはまだ対策を講じているが、4年程ぶりに保護者の方には施設内に入ってお迎えを再開した。支援員にはコミュニケーションを取りながら子ども達の様子を伝え、一緒に見守っていききたい。 ②その他

4 全体的な評価

(1)指定管理者の評価
(2)施設所管課の評価
(3)次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)

当会役職員協力のもと事業に取り組み、4期目となる指定管理の期間を無事終えることができた。
この5年間少子化の顕著な山北地区において、逆に学童保育所の利用者が増えていることは、学童保育の果たす役割が大きくなったと感じる。そんな中で支援員の資質の向上を図り、いろいろな団体と連携しながら、子ども達の目線に立った居場所や放課後の過ごし方を目指して活動できたのではないかと考える。

・利用児童の安全保育と健全育成を第一に考え、地域との交流や自然・文化体験を取り入れた様々な活動を積極的に取り組んでおり、高く評価できる。
・R5年度は近隣の小学校周辺に熊が出没したことから、下校から学童保育所入所までの間について、学童支援員による下校時の見守りや、関係各所と連携しスクールバスの乗車確認を行うなど、学童利用者の安全確保を最優先に考え、迅速に対応したことについて高く評価できる。
・日々の保育や活動、事業に工夫を凝らし、利用児童に充実した安心感のある保育を提供することができ、また、子育て支援センター事業も同様に工夫を凝らし、利用者のニーズに応えた。

これまでどおり様々な不測事態を想定し、柔軟かつ適切に対応できるよう、万全な管理運営体制を維持するように努めていただきたい。
また、旧保育園施設のため、屋内の部屋数が多く園庭も広いので、事故がないよう十分注意してもらいたい。